

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	外交史	2	坂本 健蔵	
平成25年度以前	外交史Ⅱ	2		
教職	教員の免許状取得のための選択科目			教職
	教科に関する科目(中学校(社会)): 日本史及び外国史			
授業の到達目標及びテーマ				言語
「外交」、「国際関係史」についての理解				共通
授業の概要				専門基礎
日本人は外交が不得手な国民だといわれる。それは、島国のため他国との対外交渉の経験に乏しく、また外国から侵攻を受けることが皆無であったという歴史的、地理的背景に起因する。また地球規模の広い視野から国際関係を眺望する視点に欠ける傾向にあり、視野狭窄な対外行動に陥りがちである。第二次大戦に突入しそして敗北したことは、それを裏付けるものである。本講義では、近代日本の興廢の背景にあった外交について、以下のトピックスを事例に考察するものである。				法律一般
授業計画				政治行政
<p>第1回： 近代日本外交概観</p> <p>第2回： 満洲事変の勃発と経過</p> <p>第3回： 日華事変の勃発と経過</p> <p>第4回： 国際連盟と日本</p> <p>第5回： 勢力範囲の設定と日本外交</p> <p>第6回： 満洲と日中関係</p> <p>第7回： 満洲と日米関係</p> <p>第8回： マハーン理論と大陸政策</p> <p>第9回： ワシントン会議と三条約</p> <p>第10回： ワシントン体制と東アジア国際関係</p> <p>第11回： ワシントン体制と中国革命外交</p> <p>第12回： 満洲国と華北分離工作の展開</p> <p>第13回： 日本外交と日中提携論</p> <p>第14回： 日本移民と人種差別問題</p> <p>第15回： 大東亜戦争勃発の原因とその敗因</p> <p>定期試験</p>				経営法務
テキスト				スポーツ福祉
プリントを配布予定				25年度以前 政治行政コース
参考書・参考資料等				
岡崎久彦『幣原喜重郎とその時代』(PHP研究所) 平間洋一『日英同盟』(PHP新書)、杉山徹宗『大國の外交戦略史』(鷹書房弓プレス)ほか				
学生に対する評価				演習
試験、レポート、出席を総合的に勘案して評価する。				